



今は町執行部と町議会がズブズブの関係と言える。

議会が果たして今のように何でも賛成でいいのか。
執行部の言いなりでいいのか。確かに何でも反対では
もの事は進みません。
さすがにそのような不見識の方はいません。だからこ
そ、もっともっと議会と執行部は緊張関係をもつべき
です。ナレアイはダメ。
町民の望まない事を強行しようとする執行部。それ
に対し、体を張って抵抗するのが議会のはずです。しか
し、今の執行部や議会には自浄能力はない！
ましてや、御存知のように執行部提案は何でも通る！
これでは町執行部はやりたい放題ではないでしょう
か。

町民の皆さんも目覚めていただきたい！こんな状況だ
からこそ、一回総トッカエしなくてはならないのでは
ないでしょうか。
ヘドロのたまったものは、一掃して浄化しなくてはな
らない。上から下まで続いているピラミッド構造。
持てる人はより豊かになり、
持てない人はより貧しくなっていく。
こんな状態が続けば格差は拡大し、貧富の差は広がる。
誰もが等しく暮らせる権利に反しているではないか。
直ちに変革しなくてはならない。
その為には共に立ち上がろう。

ちょっと一言

麻生政経塾 講演録より

あの伝説の歌姫 山口百恵 —その誕生秘話—

私達の世代（ちょうど還暦を過ぎた世代）にとって
山口百恵の引退ほど衝撃的なものはなかった。
今でも脳裏に焼きついている。
最後に自らマイクを舞台の上に置いて立ち去る姿。
何の未練もなく、精一杯燃焼した芸能生活を象徴して
いる。
私の講演で山口百恵の偉大さを語り、彼女の努力の結
晶とその潔さを述べた時の事だった。
会場の中から、お父さんから聞いたあの伝説の歌姫の
事ねと言う声が漏れ聞こえた。山口百恵とはもはや伝
説、歴史の中に刻まれ、世代を超えて伝承されている。
ものスゴイ、スーパースターなのである。たった数年
間の芸能生活で私達に感動を与え、歴史をつくった。
この永遠の大スターの話を引きあいに出す時に彼女が
どうして世に出られたのか。それは何が契機なのか。
日本TVが萩本欽ちゃんの司会で始まる夢みる少年少
女のスカウト番組「スター誕生」から巣立ったのだ。
この番組を立ち上げた名プロデューサー岡崎和彦氏を
後年、私は知る事になり、多くの事を学ばせていただ
いた。
当時、TV番組は一巨大プロダクションがほとんどの
有名所属タレントを抱えており、このプロダクション

の意向にさからう事は、ほとんど不可能で
あったと言う。
それならば、自分達の手でスターを発掘し、
スターを育てていこうと言う事で、この大
手芸能プロに戦いを挑んでつくった番組だ
と言う。結果はどうだっただろうか。その
後のスター誕生出身のタレントの活躍がTV界の常
識を変え、芸能界の歴史を大きく変えたのは言うまで
もない。
この社会にはキラ星の如く、埋れている多くの才能が
ある。その才能が世に出るキッカケをつくった意義と
夢みる若い世代がその夢を実現させる舞台を提供した
意義ははかり知れないものがある。
人に歴史あり。その歴史をつくりあげた裏方の存在は、
決して忘れてはならない。
スター誕生の陰に多くのドラマがあり、多くの歴史が
存在した事を。
その事を生み出した偉大なる人がいたことを。
永遠のスター 山口百恵。
偉大なるプロデューサー 岡崎和彦。
私は今でも忘れない！



塾長 麻生 剛 のプロフィール

- 1955年(昭和30年)12月 千葉県大多喜町久保に生まれる
- 千葉県立大多喜高等学校卒業
- 駒澤大学法学部政治学科卒業
- 在学中 福岡政行先生(比較政治学・福祉国家論)
- 上條末夫先生(政治社会学・日本政治史)
- 山折哲雄先生(文化人類学・宗教学)
- 高橋正則先生(マスコミ論・政党論)
- 中川 融先生(国際法・国際関係論)
- 林 修三先生(憲法・行政法)
- 雨宮真也先生(民法)
- 山口邦夫先生(刑法) に学ぶ

- 政治学士
- 大多喜町議会議員初当選H5年1月(最年少37才)
- 財松下政経塾 東京政経塾出身
- 衆議院議員公設秘書として国の政策立案等に携わる
- 市民団体代表として町おこし運動に取り組む
- 私立学校役員として不登校問題やいじめ問題に取り組む
- NPO 国際福祉法人理事として国際問題や社会福祉問題に真正面より取り組む
- 学校法人理事として専門教育に取り組み、社会の要請に応える

